

第31回保存フォーラム（令和2年度）

戦略的「保存容器」の使い方—さまざまなカタチで資料を護る—

正倉院文書の保存環境 —保存容器を中心に

宮内庁正倉院事務所
高畠誠

正倉院・正倉院宝物について

正倉院の場所



正倉院の歴史

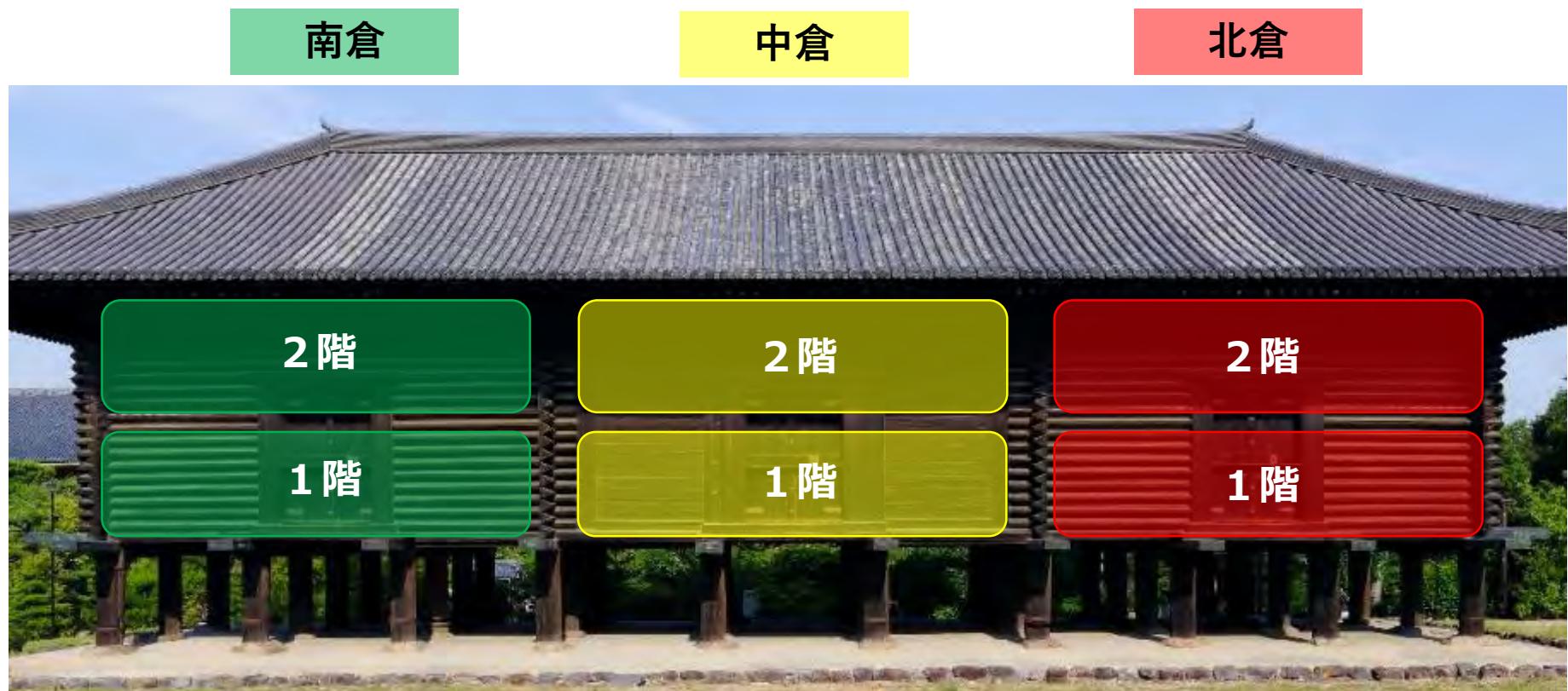


- 東大寺の倉庫
- 756年、大仏に献納された聖武天皇遺愛の品を収納する宝物庫
- 東大寺の儀式具の収蔵庫

正倉院のつくり①



正倉院のつくり②



正倉院宝物の所在

南倉

中倉

北倉



正倉院の内部



正倉院宝物の特徴

- 由緒が明らかである。
- 8世紀のまとめた伝世品。
- 8世紀当時の唐文化を類推できる伝世品。
- 1200年以上、人々の手によって大事に伝えられてきた。



約9000点



正倉院文書について

正倉院文書とは

- 東大寺写経所の事務帳簿類。
- 奈良時代に作成された。
- 反故となつた公文書の裏面（反故紙）を利用。
- 6種667巻5冊が伝わる。

正倉院文書



正倉院文書の整理

- 正修
→ 天保 4～7 年（1833～1836） 、 穂井田忠友。
- 続修、 続修後集、 続修別集
→ 明治 8～15 年（1875～1882） 、 内務省。
- 続々修
→ 明治 27 年（1894） 、 宮内省正倉院御物掛。
- 塵芥文書
→ 明治 8 年～15 年（1875～1882） 、 内務省。

神祇官移 民部省

合得糧條於達人

官主二人一都十人直丁二人并十五人別日米并達二夕至
合得糧條於達人十人別日米并達二夕至

應請霜未貳拾政斛壹斗

拾貳拾政斛壹合霜布疋大

應請霜未貳拾政斛壹斗

拾貳拾政斛壹合霜布疋大

右都等來十一月廿四日公糧所請取件

故移

宮職解 申請直丁并仕丁糧水塙布等事

合參拾壹人

直丁之廝至之

仕丁皆人廝至之

拾壹冬拾壹人

廝至之

應請米政斛捌斗陸林塙政林捌合柒夕

石土丁壹拾柒人料

捌五十八升

柒五合八升

霜布壹拾肆疋

石廝丁壹拾肆人料

捌五合八升

前來五月十九箇日料糧米壹布等數如你今
錄事狀申送

拾

至七年四月十四日後至十一月公糧

不取

從在行高孫翁良三無

無

兵糧行道萬木連

日

支倉

第六位上行者在河民省

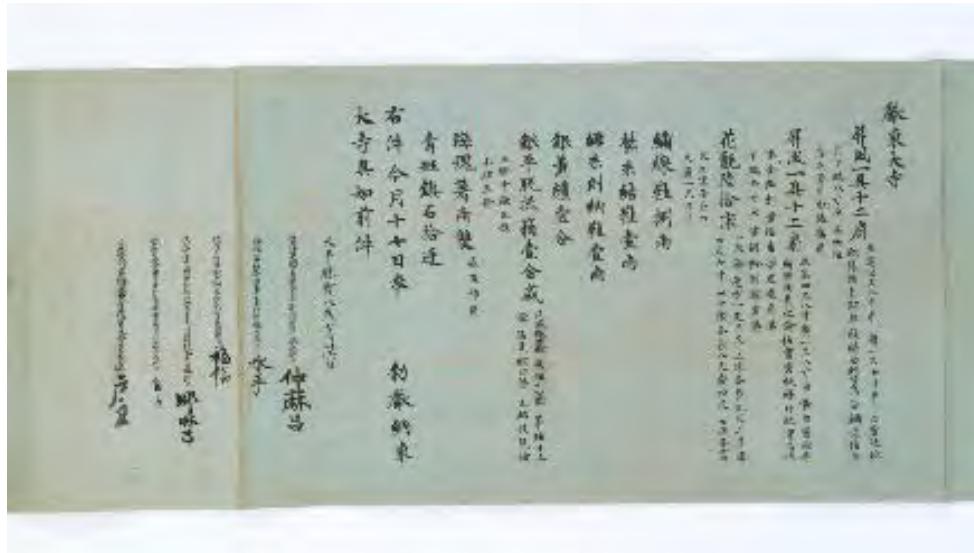
不取

支倉

正倉院に伝わる紙

- 正倉院文書以外にも紙に関する正倉院宝物が伝わる。
- 紙 자체が宝物であるもの、宝物の修理などに紙が使用されているもの、など様々な用途で紙が利用されている。

正倉院に伝わる紙①



正倉院に伝わる紙②



等々……

正倉院文書の保存環境について

正倉院の内部



唐櫃

唐櫃

- 杉製。
- 正倉院宝物が納められていた。
- 奈良時代以外の唐櫃も存在。
- 現在でも保管容器として利用。

正倉院文書の唐櫃

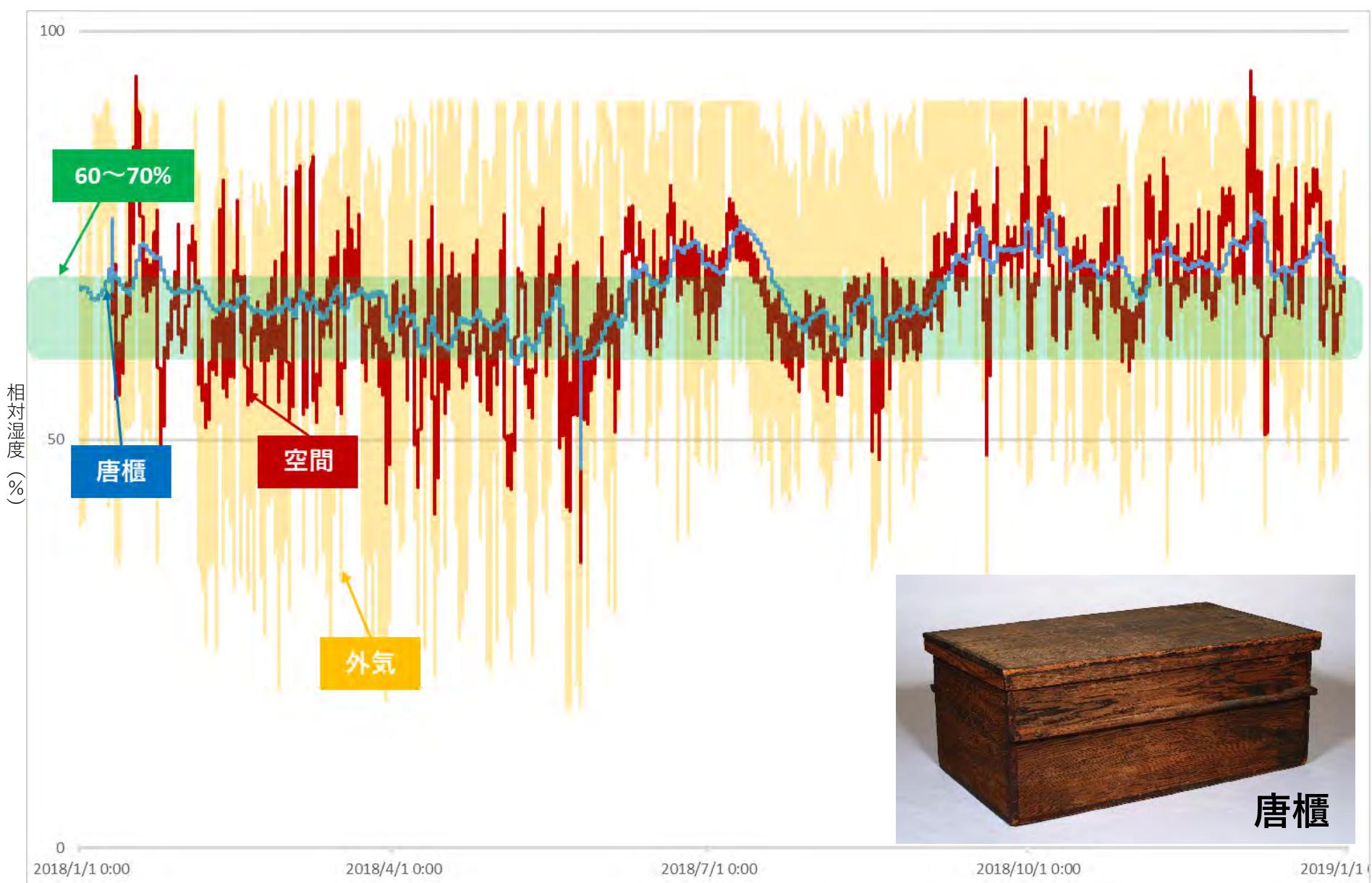


正修が納められていた赤漆櫻木小櫃

唐櫃保存の効果

- 唐櫃内の温湿度（特に湿度）変動が緩和される。
- 紫外線を遮断できる。
- 生物の侵入を防止できる。
- 宝物の転倒・落下による損傷を防止できる。

正倉内湿度変化



その他の唐櫃①



その他の唐櫃②



徳川家康が献納した唐櫃



蓋の内側に徳川家康の名が記される

正倉院宝物の保存環境

- 正倉院宝物は「唐櫃」という容器に納められ、「唐櫃」は「正倉院」という容器の中で保管されてきた。
- 正倉院は勅封管理により、保存環境の変化が少なかつた。
- 正倉院内の点検にて、唐櫃の劣化が確認された際には、唐櫃は新調された。



正倉院宝物の劣化防止に繋がる

現在の倉（西宝庫）



西宝庫の保存環境

- 空調により湿度を約60%に維持。
- 活性炭やフィルターにて、大気汚染物質の流入を防止。
- 勅封管理のため、決まった期間以外は出入りが不可能。



正倉内の保存環境を基にする

現在の保存容器

- 宝物ごとに専用容器に納めて保存。
- 桐箱、アーカイバル容器を使用。
- 唐櫃も使用。

現在の保存容器①



正倉院古文書正修の保存容器

現在の保存容器②





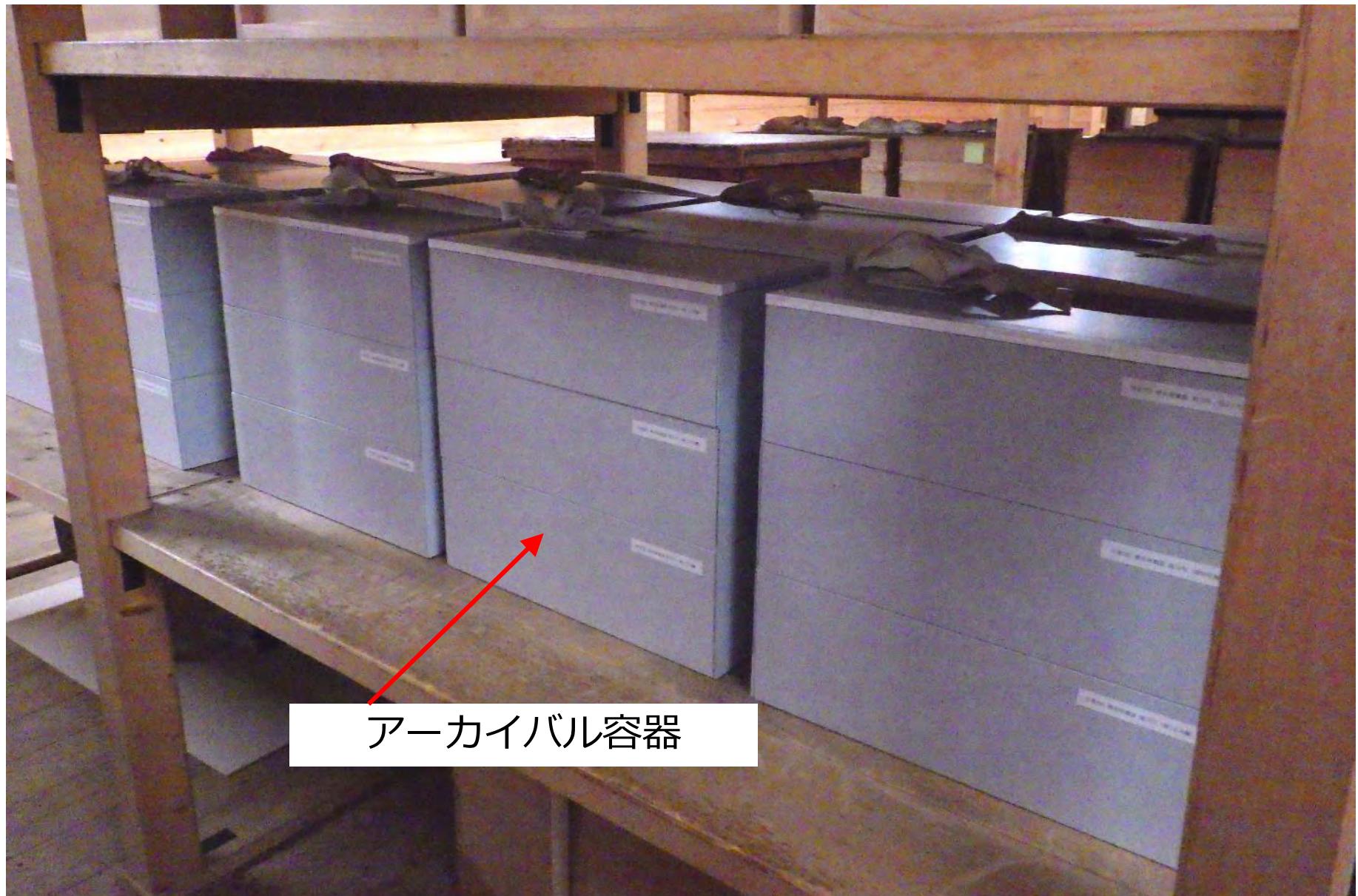
西宝庫内における正倉院文書の保存状況

現在の保存容器③（桐箱）

調湿マルチガス吸着シート



現在の保存容器④

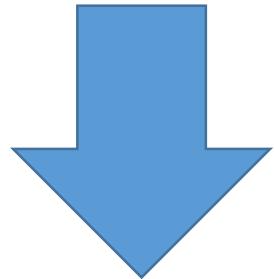


アーカイバル容器

宝物の保存作業

正倉院宝物の保存

宝物の点検



宝物の状態を確認

- ・損傷
- ・虫、カビ

保存環境の管理

- ・温湿度
- ・生物
- ・保存容器

点検風景①



聖語藏経巻

点検風景②



花氈

保管容器の改善

- 修理・整理の終わった宝物を納めるため。
(修理・整理により宝物の保管姿が変わる場合がある)
- 宝物の保管状況を改善させるため。
- 容器が損傷した場合。



宝物容器の修繕、交換を行う

まとめ

- ・正倉院文書の保存に唐櫃（保存容器）は重要な役割を担ってきた。
- ・現在も専用の保存容器を活用している。